

愛知大学地域政策学部 2016 年度定年退職者



渡 辺 和 敏

略 歴

昭和 21 年 静岡県湖西市生まれ。
昭和 44 年 法政大学文学部卒業
昭和 51 年 法政大学大学院博士課程単位取得退学
平成 4 年 博士（文学）（法政大学）
昭和 52 年 日本学術振興会奨励研究員
昭和 53 年 愛知大学教養部講師
平成 3 年 愛知大学教養部教授
平成 10 年 愛知大学経済学部教授
平成 23 年 愛知大学地域政策学部教授
その他、愛知大学総合郷土研究所長、経済学部長、図書館長、地域政策学部長などを歴任。

社会活動

静岡県史執筆委員、新居町史編集委員、豊田町史編集執筆副委員長、あいち国際戦略会議委員、豊橋市文化財保護審議委員会会長、湖西市文化財保護審議委員会会長、鳥田市鳥田宿大井川川越遺跡保存管理計画委員会委員長、国特別史跡新居関所整備保存委員会委員長、全日本学生ヨット連盟副会長など。

主な研究業績、

『改定・街道と関所』（新居町）、『新居町史』1～10 巻・別巻（共編著、新居町）、『近世交通制度の研究』（吉川弘文館）、『豊橋市史』3～4 巻（共著、豊橋市）、『静岡県史』通史編上・下（共著、静岡県）、『古文書にみる江戸時代の二川宿』（編著、豊橋市二川宿本陣資料館）、『近世豊橋の旅人たち』（監修、同上）、『二川宿本陣宿帳』Ⅰ～Ⅲ（監修、同上）、『東海道の宿場と交通』（静岡新聞社）、『ええじゃないか』（あるむ）、『浄慈院日別雑記』Ⅰ～Ⅴ（監修、同上）、『東海道交通施設と幕藩制社会』（岩田書院）など。